

ちょっと怖かった話

—幽霊を見たことがありますか—

市川 順聖

(浜松日本語学院日本語教師養成講座)

突然ですが、みなさんは幽霊を信じますか。僕は子どもの頃、幽霊が出てくる映画を、苦手なくせによく観ていました。怖いものみたさというものでしょうか。だからかもしれませんが、僕は幽霊の存在を昔から信じています。これから記す体験は、そんな僕が幽霊の存在を確信するようになった出来事です。

僕が一人暮らしをしていたアパートは、大学からすぐ近くの岡の上にありました。こじんまりしたワンルームでしたが、男 1 人がゆっくりするには十分な部屋でした。家賃が安いこともあって、「あること」を除けば何も問題のない部屋でした。しかし、その「あること」によって少しずつ生活に違和感を感じるようになりました。それは、どんなに換気しても変わらない湿気と独特なおいでした。暮らし始めた時はあまり気にしていませんでしたが、エアコンの除湿を最大にしても部屋の中にカビが生えることを経験して以降、僕の不安は次第に大きくなっていきました。そして一人暮らしを始めて一年が経ったある日、この不安の種が何なのかが判明する出来事が起こったのです。

大学から帰ってきた僕は、夕食とシャワーを済ませ夜中までゲームをしていました。深夜 1 時を回りそろそろ寝ようと考えベッドに横になりました。眠り

についてしばらくした時、僕は生まれて初めて金縛りを経験しました。体も動かず声も出せない僕が部屋を見ていると、トイレのドアが勝手に開き、机の上の物が動き出しました。これはヤバイと思っていたら、いつのまにか部屋は元に戻り金縛りも解けていました。「きっと悪い夢でも見ているのだろう。」と考えた僕は、トイレに向かおうと体を起こしました。その時、青色の着物を着た子どもが僕の目の前に立ち、くすくすと笑っていたのです。男の子は僕の肩をつかむと思いきりベッドに押し倒してきました。押し倒された瞬間、僕はベッドからはね起きました。元通りの部屋に、男の子の姿はありませんでした。やはり悪夢を見ただけだったようです。しかし、僕は時計を見てその考えは間違いだったと気づきました。なぜなら、押し倒される瞬間に見えた時刻と、はね起きた時刻が全く同じだったからです。そんなことが、普通はありえるのでしょうか。

青い着物の男の子が現れた次の日、僕は靈感のある友人に部屋へ来てもらいました。するとその子が言うことには、僕の部屋と岡の更に上にある神社が霊道によって結ばれているとのことでした。専門家に依頼し、部屋を清めてもらって以降は、あの謎の湿気もおいも無くなっていました。僕が見たあの男の子はきっと幽霊なのでしょうが、彼はいったい何がしたかったのか、今でも謎のままです。

(1087 字)

(2022.6 たどくのひろば掲載)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.